

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

2026年6月12日

米子市議会議長様

(会派の場合)

会派名 よなご・未来

代表者氏名 国頭 靖 (印)

提出者氏名 土光 均 (印)

(議員の場合)

議員名 (印)

下記のとおり報告します。

記

項 目	☒ 現地調査	☐ 行政視察	☐ 要請・陳情活動
	☐ 研修会への参加	☐ 会議への参加	
参 加 者	土光 均		
期 日	2026 年 6 月 1 日から 2026 年 6 月 5 日まで		
〔視察等年月日・場所・内容〕 〔視察等の目的〕 〔視察等要旨〕 〔視察等（説明）要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点〕 は別紙のとおり			
経 費	旅 費	173,595円	
	合 計	173,595円	

〔視察等年月日・場所・内容〕

6月2日 幌延深地層研究センター

6月3日 神恵内村、寿都町、岩内町、泊村

地元住民(元寿都町議員、岩内町議員)からの聞き取り

神恵内村の漁港、寿都町の風車群など見学

各役場訪問

対岸から泊原発の全景

6月4日 泊原発構内・PR館(とまりん館)見学

〔視察等の目的〕

- ・ 延幌深地層研究センターの地層処分の研究の状況を現場で確認
- ・ 神恵内村、寿都町はともに高レベル放射性廃棄物の地層処分に向けて文献調査が行われた自治体であり、その経過、現地の状況の調査
- ・ 泊原発の概要や、再稼働を目指しての状況の把握

〔視察等要旨〕

<延幌深地層研究センター>

はじめに主な研究内容の概要説明を受け、ゆめ地創館(地層処分実規模試験施設)で研究内容を把握した後実際に深度350mの調査坑道にもぐり、坑道の実際の様子、研究設備等を実地に見学する。説明を受けた。

その後質疑応答。

<寿都町・神恵内村>

地元(寿都町、岩内町)の住民(議員等)から、高レベル放射性廃棄物の文献調査受入時の町、議会、町民などの具体的な経緯、やり取りの詳細の説明を受ける。

寿都町や神恵内村の庁舎を訪問、また寿都町の風車群の様子を案内してもらう。

泊原発に関して、対岸からの全景を見ての説明、周辺地図を元に避難計画の問題点などを聞き取る。

<泊原発>

泊原発の構内の高台から、泊原発(1号機、2号機、3号機)の位置、状況また、安全対策としての防潮堤工事の状況の説明を受ける。

とまりん館(PR館)での、原発施設の実物大模型などにより、原発の仕組み、新燃料、使用済み核燃料に関しての説明を受ける。

〔視察等（説明）要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点〕
＜高レベル放射性廃棄物の処分に関して＞

高レベル放射性廃棄物の地層処分に関して、今回の視察、その研究センターと地層処分受入のための文献調査を実施した2町村を訪れた。

現在これまでの原子力発電の運転により、使用済み核燃料のは、ガラス固化体換算で27,000本相当の量になる。そしてそのうち、実際に再処理がされ現存するガラス固化体は2,530本である。（残りは、使用済み核燃料のままの状態で保存されている。）

これを、子孫にツケを回さずどのように処理するかは私たち世代の課題となっている。

その1つの方法が、地下300メートルに埋蔵する地層処分。

しかしさまざまな課題がある。

①再処理そのものができていないこと。

②地層処分を受け入れる場所を選定する過程で、それを受け入れる自治体に大きな負担（しわよせ）がかかっていること。

①に関しては、六ヶ所再処理工場の稼働が焦点ではあるが、再処理そのものをせず、使用済み核燃料の状態での地層処分をするという直接処分の方法も検討に値する。

今回訪れた幌延深地層研究センターでは、それに関する研究は行われていないということであり残念であった。

②に関して、自治体を受入の是非に関して、当該自治体のまちづくりがどうあるべきかも含め首長、議会、住民の間でどのような場でどのような方法で議論をするかまだまだ試行錯誤しながらことがすすめられたことがわかった。まさに、民主主義が問われていると言える。

原発運転の結果必然的に生み出される使用済み核燃料をどう処分するかは、受入の是非が議論されている一部の自治体だけのものではなく、米子市も含めた、すべての自治体に関心を持ち主体的に考えていかなければならない問題である。

島根原発周辺自治体である本市としても、必然的に使用済み核燃料を生み出すことになる原発の稼働の是非を考える際、そのことも考慮すべきである。

＜泊原発に関して＞

現在再稼働を目指しているのは3号機である。

3号機は、福島第一原発事故以前に運転開始したが、事故を契機に策定された新規規制基準に適合させるために、地震・津波等に対しての安全対策となる防潮堤の建設等が精力的にすすめられている。

また、北海道電力は新規規制基準適合に合格し、再稼働後には、プルサーマル発電も予定しているとのこと。これは、島根原発2号機とほぼ同じ状況であり、その経緯、さまざまな課題に対する議論の内容も似通っている。島根2号機は、既に再稼働し、プルサーマル発電への動きが具体化していて、泊原発3号機より先行している状況。共通の課題を共有していくことの重要性、有用性を改めて感じた。

また、原発事故時の避難計画に関しても、避難経路の問題、安定ヨウ素剤配布の問題、冬季の積雪時の問題など共通の課題があることがわかり、それに対してどのように対応していくか、情報交換の重要性を再認識した。

.....

旅費計算表

令和8年6月1日 ～ 令和8年6月5日

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地まで のキロ数	運 賃	グリー ン	急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付き)	宿 泊 費	
							特 別	新 幹 線		北海道	
6/1	米子空港～羽田空港	ANA	776.0		25,540				1,600	13,050	
(月)	羽田空港～稚内空港	ANA	1195.0		17,940						
6/2	道内レンタカー移動								2,400	9,450	
(火)	・幌延深地層研究センター										
6/3	道内レンタカー移動								1,600	8,900	
(水)	・神恵内村及び寿都町周辺関連施設										
6/4	道内レンタカー移動										
(木)	・泊原発PRセンター 他関連施設										
	新千歳空港～羽田空港	ANA	894.0		20,180						
6/5	羽田空港～米子空港	ANA	776.0		往復						
(金)											
計	議 員 旅 費			100,660	63,660	0	0	0	5,600	31,400	0
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 土光 均

議員旅費	100,660 × 1名 =	100,660 円
レンタカー代	57,592 × 1名 =	57,592 円
手数料	5,500 × 1名 =	5,500 円
ガソリン代	1,903	1,903 円
駐車場代	1,000	1,000 円 (6/1ホテル駐車場代)
高速道路代	5,890	5,890 円
自宅～米子空港までの自家用車代	21km × 25円 × 2 =	1,050 円 (土光議員:片道21キロ)
		173,595 円

※6/4の宿泊については、土光議員私用のための宿泊により政務活動費の支出なし

よなご・未来 土光議員視察
幌延深地層研究センター、北海道電力泊原発PRセンター他

行政視察行程（土光議員）

月 日	行 程	宿 泊 先
6 / 1 (月)	8:50 10:10 10:55 12:45 米子空港=====羽田空港=====稚内空港=====ホテル ANA384 便 ANA571 便 レンタカー	【ホテル】 ドーマーイン稚内 ☎0162-24-5489
6 / 2 (火)	9 : 0 0 （ 約 52km 約 1 時間 ） ホテル=====幌延深地層研究センター レンタカー	【ホテル】 ホテルいのう ☎0135-62-1391
	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター 見学 【時 間】 9 : 3 0 ～ 約 2 時間半 【目 的】 高レベル放射性廃棄物の地層処分の現状を実際の深地層で見学するため	【レンタカー】 ニッポンレンタカー 稚内空港 ☎050-1712-2985
	（ 深川留萌道～道央道～札幌道～後志道 155km ￥3,710 ） 幌延深地層研究センター=====ホテル レンタカー	
6 / 3 (水)	9 : 0 0 ホテル=====神恵内村及び泊原発周辺現地視察 レンタカー	【ホテル】 ダイマル大谷会館 ☎0136-62-2034
	神恵内村及び寿都町周辺現地視察 ※神恵内村及び寿都町は高レベル放射性廃棄物の地層処分に向けた文献調査が行われた自治体であり、交付金利用による施設等現地調査 【神恵内村周辺】 （神恵内村役場及び NUMO 神恵内村交流センター、道の駅オスコイ！かもえない、その他交付金利用による漁港施設） 【寿都町周辺】 （NUMO 寿都交流センター、寿都町役場、寿都町風力発電施設群、道の駅みなとま～れ寿都、その他交付金関連施設）	
	9 : 0 0 神恵内村及び寿都町周辺現地視察=====ホテル レンタカー	
6 / 4 (木)	9 : 0 0 ホテル=====泊原発とその周辺視察 レンタカー	【ホテル】 土光議員予約 （私用のため）
	北海道電力泊原発周辺現地視察 【場 所】 北海道電力原子力 PR センター「とまりん館」及び構内見学とその周辺 【目 的】 島根原発 2 号機と同様に、福島原発事故以後再稼働に向け活断層の評価、地震動・津波評価の基つきさまざまな対策が行われている。その対策の状況を知るため。また、周辺の避難計画の状況・課題を把握するため。	

	9 : 0 0 (後志道～札幌道～道央道 92.4km ￥2,180) 18:30 20:10 泊原発とその周辺現地視察=====新千歳空港=====羽田空港 レンタカー NH (ANA) 76 便	
6 / 5 (金)	18:00 19:20 羽田空港=====米子空港 ANA387 便	